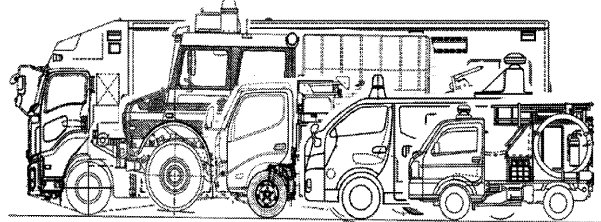


特装車を製作する技術で、次世代モビリティの未来を支える

TONOX



株式会社 トノックス
https://tonox.jp/



〒254-0021
神奈川県平塚市長瀬2番6号

Japan
Mobility Show

東京ビッグサイト 東ホール
小間番号 E7314



いくっしょ
モビショー!

Japan
Mobility
Show 2025

10.30 Thu - 11.9 Sun
東京ビッグサイト

Japan Mobility Show 2025 30日開幕

東京ビッグサイト

日本最大級 モビリティの祭典

日本最大級のモビリティの祭典「Japan Mobility Show」が、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される。主催は日本自動車工業会(自工会)。30日は招待持参者のみ参加可能なオフィシャルデーで、31日から11月9日まで一般公開される。

同展は2023年に東京モーターショーから名称・コンセプトが一新され、自動車業界だけでなく他産業やスタートアップの参加も増えた。今回は過去最多の500以上の企業・団体が参加。完成車のほか、部品・機械器具、関連システム、充電機器など自動車を含むモビリティに関するあらゆる製品、技術、サービス、エンターテインメントが一堂に会する。コンセプトは「ワクワクする未来を、探しに行こう!」。「みんながワクワク

#FUTURE

「Tokyo Future Tour 2035」は170以上の企業・団体が参加する企業横断型の展示企画。10年後の近未来の技術や、それによってもたらされる生活の変化を体感できる。空飛ぶクルマ「SKYDRIVER」の試乗体験を通じて、空の移動シーンを体感したり、モビリティの進化によって変わる10年後の街や道の姿、自然との共生を感じたりできる。また「ポケットモンスター」のキャラクターを乗り物として再現した「トヨタミッドランド」「ホンダコライド」も展示予定だ。

モビリティは単なる移動手段ではなく、暮らしの記憶や価値観をも形作ってきた。

#CULTURE

「Startup Future Factory」では、多様な製品、サービス、技術を持つスタートアップや大学などが120者以上参加する展示エリア「Exhibition Street」が設けられる。出展テーマは①移動がもつスワイスイ・ワクワク②地球のことを考えてつくり方から新しく③暮らしを支える仕組みをアップデート④そんなこれまで!

#CREATION

ニチコン

ニチコンは「クルマのくらしに、エネパ!」をテーマに、次世代モビリティとエネルギーの融合による理想の暮らしを提案する。トライブリッド蓄電システム「ESS-T5/T6シリーズ」は、太陽光発電、蓄電池、EVの三つのエネルギーをまとめて直流で効率よく制御し、電気代の最小化を目指すシステム。同社が世界に先駆けて開発した。また商用EVの効率的な充電を実現する「サイクリックマルチ充電器」は、複数車両の充電、設置スペース、電力基本料金、充電管理などの課題を解決する新しいコンセプトの急速充電システムだ。そのほか、V2Hシステム「EVパワー・ステーション」や車載向けコンデンサーなども紹介する。

トノックス

トノックスは車体製造・特装車架装メーカー。1948年の創業以来、確かな実績と信頼を築いてきた。軽自動車から大型車両まで幅広い車を扱っており、フルオーダーや大規模ロット・小ロット生産にも対応する。これまで培った知見と技術を結集し、他社との共創によって単独では成し得ない新たな課題解決に挑む。展示会では、協力企業とともに創り上げ、同社の「ものづくり魂」が息づいた製品を披露する。車体製造・架装技術を基盤に、EV・自動運転など次世代モビリティ分野における開発を加速させ、地域と社会の未来を創造していく。

近未来体験／名車／スタートアップ出展

V、ハイブリッド車(HV)など環境対応車の開発や普及が進められている。EV・住宅間で電力を相互供給できるビークル・ツー・ホーム(V2H)システムは、災害時の非常用電源として活用できるほか、太陽光発電と組み合わせることによって再生可能エネルギーの有効活用や電力コストの削減につながる。また自動運転やコネクテッドサービスなども注目されている。自動車の安全性や快適性向上のため、ハードとソフトの両面で技術開発が進む。今回の同展は①モビリティの未来の姿(#FUTURE)②モビリティそのものの(#CULTURE)③モビリティのビジネス(#CREATION)の三つを軸に多彩な企画が行われる。

その魅力が「Mobility Culture Program」として発信される。東7ホールでは、戦後から現代までの名車が街の風景、音楽、ファッションなど当時のカルチャーとともに披露される。また東7ホール屋外臨時駐車場では、次世代燃料の可能性を伝えるショールームや、レーシングカーのデモラン・同乗試乗、スポーツ多目的車(SUV)による悪路走行など、ダイナミックなパフォーマンスが行われる。ほかにも、働くクルマ、痛車、キャンピングカーなどが展示される会場全体でさまざまなジャンルの車間を楽しむ。

有力企業の製品・技術

順不同

来て・見て・乗って…体感

ワクワク つまった FESTIVAL

クルマのくらしに、エネパ!



Japan Mobility Show 2025

ニチコンは「クルマのくらしに、エネパ!」をテーマとして次世代モビリティを起点にした理想の暮らしをブースで描き、その実現に向けた当社の製品・技術を表現しています。次世代モビリティに対して新たな価値を提案できる当社の製品・技術をご覧いただけます。

一般公開 10.31 FRI - 11.9 SUN
東京ビッグサイト 東7ホール 小間番号 E7210

nichicon

ニチコン株式会社
京都市中京区烏丸通御池上 7604-0845
TEL.075-231-8461

Japan Mobility Show
特設サイト

